

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第12週(ARIのみ第11週)の発生動向

□ 全数報告の感染症 (12週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。
- 3類感染症：報告なし。4類感染症：つつが虫病1例。
- 5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒3例、百日咳1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	90歳代	女	肺結核	その他
		日南	20歳代	女	肺結核及び髄膜炎	発熱、その他
4類	つつが虫病	宮崎市	50歳代	男	—	頭痛、発熱、発疹
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	30歳代	男	—	ショック、軟部組織炎、中枢神経症状
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	10歳代	男	—	発熱、嘔吐、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
		高鍋	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
百日咳	宮崎市	0~4歳	女	—	持続する咳	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は445人(定点当たり24.1)で、前週比84%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患は、特になく、減少した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎であった。

また、第11週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,218人(定点当たり43.5)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。

【インフルエンザ】

報告数195人(7.0)で、前週比84%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.6)の約0.7倍であった。年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

【感染性胃腸炎】

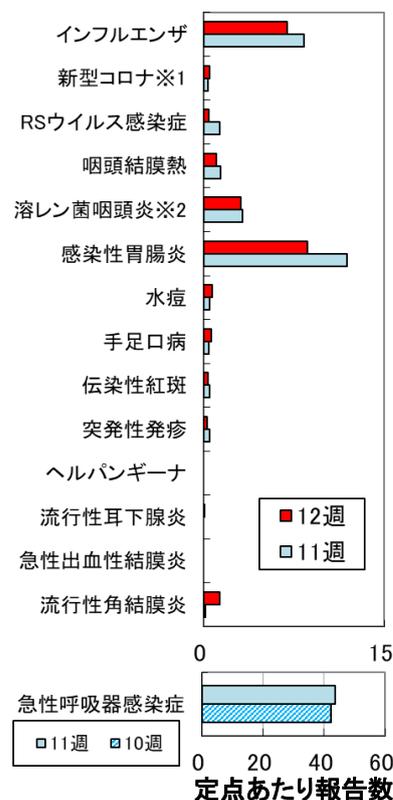
報告数は129人(8.6)で、前週比72%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.6)の約0.9倍であった。年齢群別は1歳から2歳が全体の約2割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は46人(3.1)で、前週比96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.3)の約1.3倍であった。年齢群別は5歳から7歳が全体の半数を占めた。

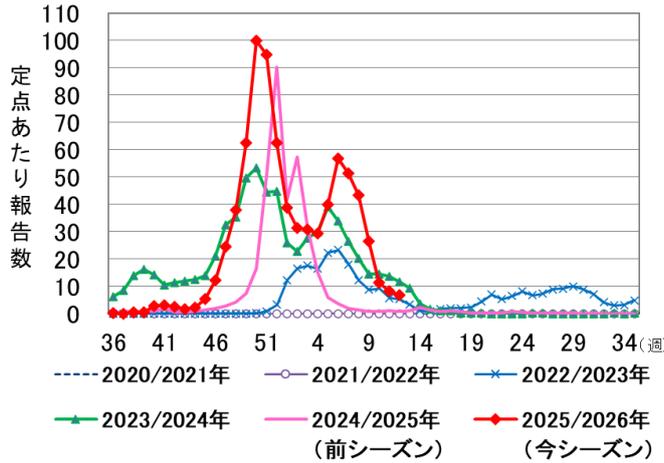
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》



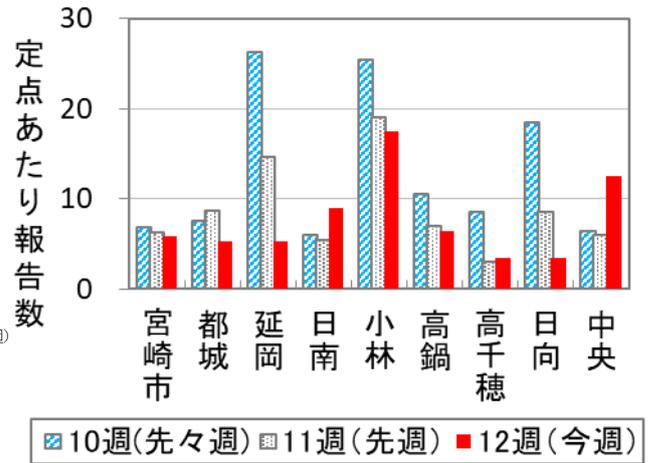
※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザ 発生状況

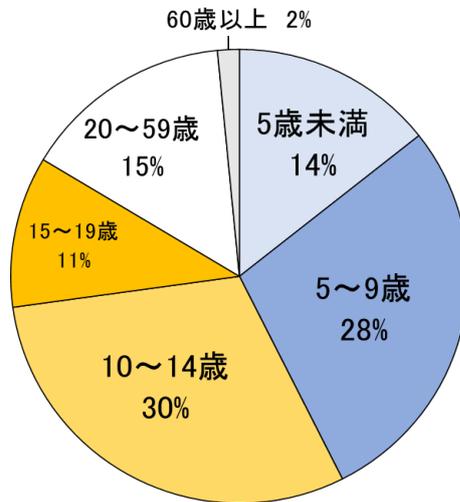


※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更

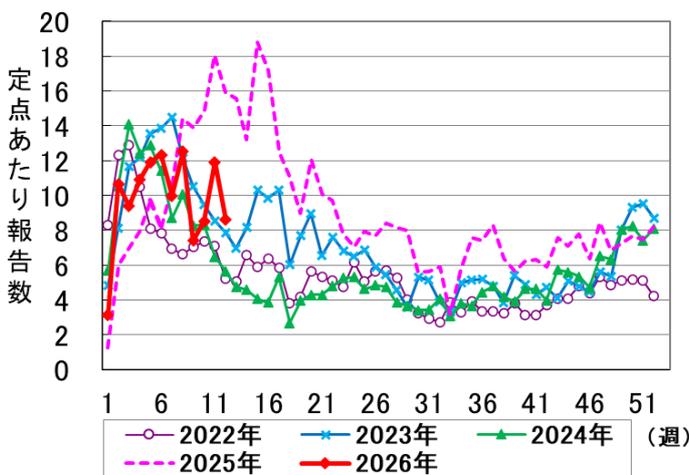
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ年齢群別グラフ(第12週)

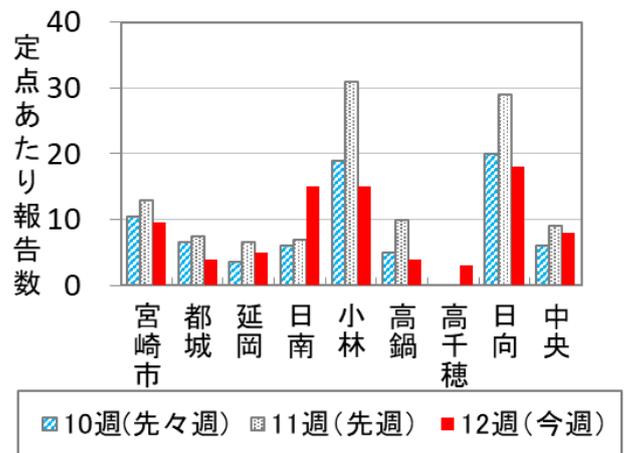


感染性胃腸炎 発生状況

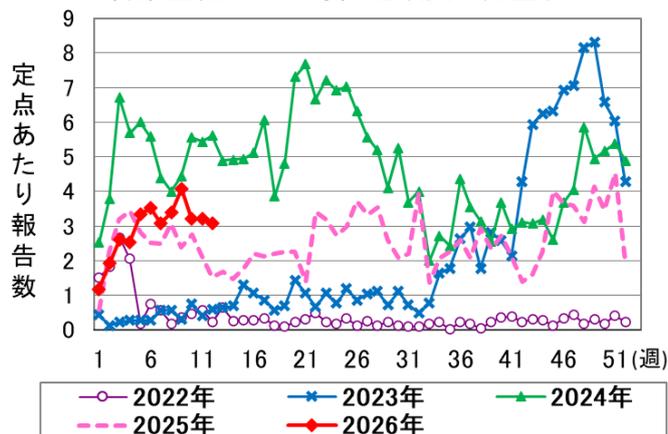


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)

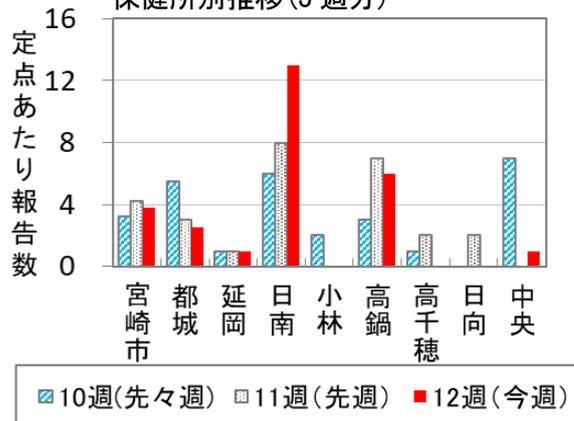


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.14)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は0～4歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	水痘(1.0)
都城	なし
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(13.0)、水痘(2.0)
小林	インフルエンザ(17.5)、水痘(2.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	インフルエンザ(12.5)、水痘(1.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・水痘(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection : ARI)

(2026年第11週:3月9日～3月15日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	6
		山形系統	0
新型コロナウイルス		1	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	0	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		2	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		6	
受付検体数		15	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

✚ 全国 2026 年第 11 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	257 例			
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	34 例	
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	3 例	エムボックス 2 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	2 例	マラリア 1 例
	レジオネラ症	33 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 16 例
	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 19 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例	侵襲性髄膜炎菌感染症 1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例	水痘(入院例)	10 例	梅毒 168 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳 88 例
	麻しん	32 例			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 90%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は、インフルエンザであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 99%とほぼ横ばいであった。

インフルエンザの報告数は 44,322 人(11.7)で前週比 81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.3)の約 1.3 倍であった。北海道(24.1)、長野県(23.5)、石川県(21.4)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,792 人(3.0)で前週比 105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約 1.1 倍であった。鳥取県(9.5)、北海道(8.4)、富山県(7.8)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 14,545 人(6.3)で前週比 97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.0)の約 1.1 倍であった。宮崎県(11.9)、群馬県(11.7)、秋田県(10.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の
当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第12週(03月16日～03月22日)

疾病名		第11週	第12週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	233	195	53	21	16	18	35	13	7	7	25
	定点当り	8.32	6.96	5.89	5.25	5.33	9.00	17.50	6.50	3.50	3.50	12.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	10	13	4	5	2		1	1			
	定点当り	0.36	0.46	0.44	1.25	0.67	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00
RSウイルス感染症	報告数	20	6	3	1	2						
	定点当り	1.33	0.40	0.60	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	21	16	14	1				1			
	定点当り	1.40	1.07	2.80	0.50	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	48	46	19	5	2	13		6			1
	定点当り	3.20	3.07	3.80	2.50	1.00	13.00	0.00	6.00	0.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	179	129	48	8	10	15	15	4	3	18	8
	定点当り	11.93	8.60	9.60	4.00	5.00	15.00	15.00	4.00	3.00	18.00	8.00
水痘	報告数	8	11	5	1		2	2				1
	定点当り	0.53	0.73	1.00	0.50	0.00	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	6	10	9								1
	定点当り	0.40	0.67	1.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	8	5	3							1	1
	定点当り	0.53	0.33	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00
突発性発しん	報告数	8	4			2	1				1	
	定点当り	0.53	0.27	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1									1
	定点当り	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	1	8	3		5						
	定点当り	0.17	1.33	1.00	0.00	5.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第11週(03月09日～03月15日)

		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1186	1218	307	163	137	97	126	86	43	152	107
	定点当り	42.36	43.50	34.11	40.75	45.67	48.50	63.00	43.00	21.50	76.00	53.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～12週 保健所受理分)

2類感染症	結核	29例(3)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例										
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	3例(1)	レジオネラ症	1例						
	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例(1)	後天性免疫不全症候群	1例						
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	4例(1)	水痘(入院例)	3例	梅毒	14例(3)						
	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	1例	百日咳	21例(1)						

()内は今週届出分、再掲